



金崎 伸幸

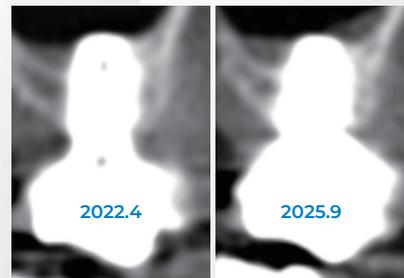
カナザキ歯科 (愛媛県松山市)
九州歯科大学卒業 歯学博士
同大学非常勤講師
愛媛大学歯科口腔外科 非常勤講師
日本口腔インプラント学会 専門医
日本歯周病学会 専門医 指導医

The buccal subcrestal placement using Profile EV (唇頬側深め埋入法)

骨吸収を想定したインプラント体の選択は長期安定のファクターとして必要なものであると考える。

インプラント周囲粘膜炎罹患症例においてデンタルX線での異常は認められないがCT像では唇頬側骨が吸収し、スレッドが骨縁上に露出している場合がある。その後、近遠心や舌側の骨も吸収し4壁性骨欠損のインプラント周囲炎へと移行することが多い。

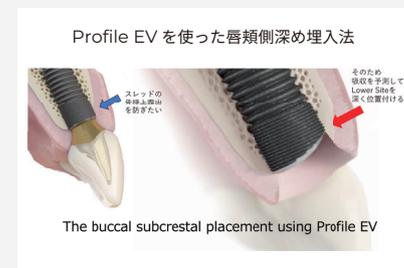
アストラテックインプラントEV プロファイルの lower site を唇頬側骨縁から約 1.5 mm 程度深めに位置付けて埋入することで、埋入後に軽度の骨吸収が起こったとしてもスレッドの骨縁上露出を防ぐことができ、長期的安定が期待できるのではないかと考える。



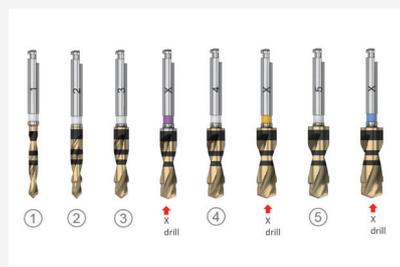
1. 2021年2月、左上5の欠損補綴希望で来院。50代の男性。斑状歯が見られ、咬合状態はAngle Class II、低位舌でTCHがあり臼歯部への咬合負担が大きいためから長期的予後の不安を感じる症例。



2. 初診時パノラマX線写真。咬合平面に乱れがあり、根尖病変等の問題も見られるが、患者希望により今回は左上5のみの治療計画となった。



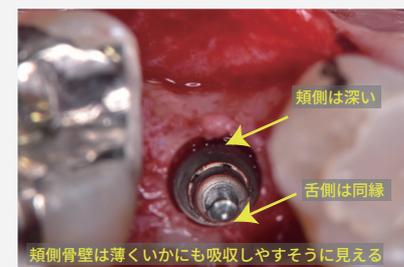
3. アストラテックインプラントEV プロファイルは抜歯窩の唇頬側骨の吸収を見越したデザインだが、成熟骨でも、埋入後の骨吸収を予測し唇頬側に lower site を深く位置づけスレッドの骨縁上露出に備えた。



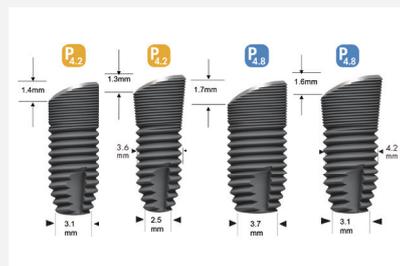
4. 繊細な辺縁骨を壊さないためには、スムーズなドリリングが不可欠な為、通常のドリルシークエンスの間にあえてXドリルを入れることでプレの少ないドリリングを実施。本症例は4.2(黄)Xドリル迄使用。



5. 埋入直前の埋入窩。人工的な抜歯窩とみなせば、埋入後、頬側骨に吸収が起こる可能性がある為、標準的な形態のインプラントを埋入した場合、スレッドの骨縁上露出が起こる可能性がある。



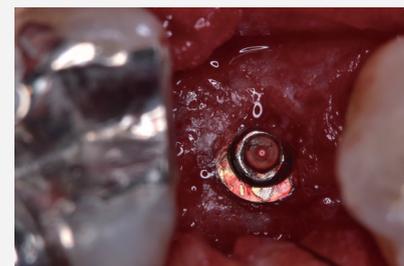
6. アストラテックインプラントEV プロファイル 4.2PS-8 mm を埋入。口蓋側は crestal、頬側は subcrestal に約 1.5 mm 深めに位置付けた。



7. 製品ラインナップ。lower site は約 1.5 mm 斜めにカットされている。ラインナップも、長辺 8 mm から揃っており幅広い症例で使用することができる。



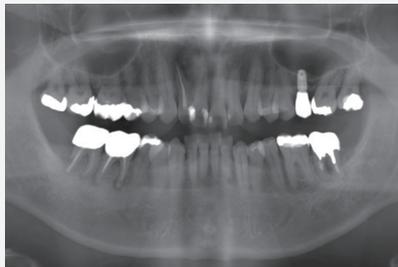
8. 埋入直後のデンタルX線像。シュナイダーメンブレンが非常に薄かったため破れないように最小限度のソケットリフトを行っている。



9. 3か月後2次オペ時の様子。ヒーリングアバットメントの上に少し骨ができ、図6のインプラント埋入時と比較すると、薄い頬側骨が吸収し結果的に分厚い頬側骨壁が得られている。



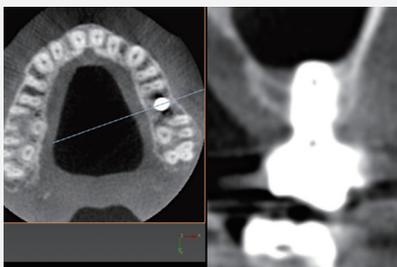
10. スクリューリテイン方式による最終補綴物



11. 最終補綴物装着時のデンタルX線像



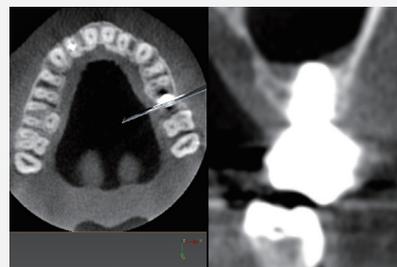
12. 患者の歯は斑状歯ではあるが希望によりステイニングは最小限とした。



13. 補綴時のパノラマX線写真。頬側の分厚い骨が確認できる。
2022.4 補綴時のCT画像



14. 補綴後3年4か月の口腔内所見。炎症等の所見はなく右上5は問題なく機能している。



15. 咬合様式が Angle Class II である上に TCH があり臼歯部の骨吸収が進行する不安があるが、右上5に関しては骨吸収等の兆候はない。
補綴後3年4か月（2025.9）のCT画像



16. 本症例において、インプラント埋入後は抜歯窩と似た骨吸収が経年的に起こっているが頬側骨は残存しておりスレッドの骨縁上露出は起きていないように見える。
当院の日常臨床において、デンタルX線では骨吸収が無いように見えても、実際には頬側骨が吸収し、スレッドの骨縁上露出からインプラント周囲の炎症が悪化していくことがある。アストラテックインプラント EV プロファイルを用いて唇頬側深め埋入を行えば骨吸収が起こったとしても厚い頬側壁が残存するためインプラント周囲炎になり難いことが、本症例においても期待できる。

CASE REPORT は著者による実症例を紹介することを目的に作成しています。

臨床医 / 技工士向けの参考として掲載されたものであり、必ずしもデンツプライシロナが推奨するものではありません。

レポート中に記載されている™および © は、米国連邦商標法に基づき記載されたもので、日本における登録商標を意味するものではありません。

販売名：オッセオスピード プロファイル EV、一般的名称：歯科用インプラントシステム、承認番号：22900BZX00322000、クラス分類：III
販売名：外科用インスツルメント オッセオスピード EV、一般的名称：手術用ドリルビット、届出番号：13B1X10236Y05460、クラス分類：I

製造販売元：デンツプライシロナ株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座 8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル
カスタマーサービスホットライン 0120-667-467
www.dentsplysirona.com

Dentsply
Sirona

MRK040000133_202512_M097